

番号	5 - 27	申請者	診療支援部長 石崎 雅俊
【審査申請課題】 筋委縮性側索硬化症患者へのエダラボン治療に関するアンケート調査			
【審査課題の概要】 筋委縮性側索硬化症（ALS）における進行抑制の治療としてエダラボン（製品名 ラジカット）が使用されている。2015年に保険適応となり、使用方法としては1クール目14日間、2クール目以降は10日間点滴静注を行う。疾患の進行に伴うADL低下で通院困難な例では、入院で投与する例も多い。2023年4月17日より点滴静注薬に加え、内服可能な内用懸濁液が発売開始され、内服への移行例も多く見られている。この研究では、現在エダラボン治療を行っている、あるいは過去に行ったことがあるALS患者へのアンケート調査を実施する。本研究の目的は、エダラボン治療の満足度や懸念点、点滴から内服への変更に伴う影響などを調査することにより、今後のALS診療に役立てることを目的とする。			
審査結果	承認 （ 令和6年2月22日 ）		